

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月19日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年1月31日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学 人文学部(日本語名) Københavns Universitet Det Humanistiske Fakultet (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年1月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Det Humanistiske Fakultet <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月上旬～1月上旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	36715
創立年	1479

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (デンマーククローネ)	日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため、明治大学の学費は支払います。
宿舍費	25,892	567,425 円	
食費	21,000	460,218 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	700	15,330 円	
現地交通費	1,134	24,849 円	定額の自転車を毎月利用 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで 徒歩・自転車)
教養娯楽費	120	2629 円	美術館チケット代
被服費	475	10403 円	雪用の靴とニット帽
医療費	0	0 円	
保険費	3,724	81,570 円	形態: 明大サポート
渡航旅費	14,555	318,770 円	
ビザ申請費	2,115	46,320 円	
雑費	3,000	65,741 円	
その他	22,818	500,000 円	旅費
その他		円	
合計	95,533	2,093,255 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: コペンハーゲン空港 経由地: ドバイ 復路 出発地: コペンハーゲン 目的地: 羽田空港 経由地: イスタンブール
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: エミレーツ航空 料金: 230,880 復路 航空会社: ターキッシュエアラインズ 料金: 87,890 ∴ 合計: 318,770
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Signhuset) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
Housing Foundation という大学から斡旋を受けたサイトで探しました。大学から案内のメールが届くので、それに従いこのサイトから好きな寮を確保します。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>一人の時間を確保したい人には向いていないかもしれませんが、そうでない人にとっては最高の環境でした。個室はあるものの、キッチンやバスルームは四人で共有なのでまずここでつながりが生まれます。そして、定期的に寮主催のパーティーなども開かれるので友達作りには困らないと思います。コペンハーゲン内には他にも様々な寮がありますが、ここが最も寮生の距離が近いと感じました。友人同士の集まりもこの寮で開催することが多く、この留学において寂しさを感じることはありませんでした。様々な刺激を受けたい人にはこの寮をお勧めします。</p> <p>問題点を挙げるとするならば、設備が良いとは言えませんでした。エレベーターや洗濯機は頻繁に壊れ、各部屋(共有スペース)の設備も部屋によって大きく異なり、たいいていどこかが壊れています。レンジが壊れている部屋、シャワーが壊れている部屋など様々です。しかしメールをすれば直してもらえる場合がほとんどなので大きな問題ではないと思います。</p>

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省海外安全ホームページやデンマークの日本大使館からのメールを受け取れるようにしておきました。デンマークは比較的安全な国であるため、犯罪やトラブルに巻き込まれたことはなかったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

e-sim を購入することも可能でしたが、私は現地の電話番号が欲しかったためSIMカードを購入しました。セブンイレブンやスーパーなどで気軽に購入できます。私はLEBARAという会社を利用していましたが、EU圏ではそのまま利用でき、特に不満はありませんでした。寮にはwifiがありましたが、速度が速いとは言えません。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デンマークはキャッシュレス社会であるため、現金が必要である場合はほとんどありません。むしろ、クレジットカードでの決済がほとんどなのでカードは複数枚あると良いかと思われます。現地でアルバイトなどをしていた人は銀行口座を開設していましたが、私はしていません。銀行口座の開設にはmit IDというIDを取得する必要があり、この手続きがかなり複雑なようです。私は日本の口座をそのまま使い続けました。もし現金が必要になった場合は、ATMから引き出すことが出来ます。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

コペンハーゲンにはアジアスーパーがいくつかあるので、日本の食材や調味料は基本的には調達できます。しかし、日本と比べると何倍もの値段がするので荷物に余裕があるのなら醤油くらいは持っていくと良いかもしれません。食材以外の物資についても、コペンハーゲンで揃えられるものがほとんどです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30(ECTS)単位	<input type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Course in Danish Culture 1	デンマークの文化
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2023 年度秋学期
単位数	7.5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Peter Edelberg
授業内容	デンマークの文化や歴史について包括的に学ぶ
試験・課題等	80 パーセント以上の出席
感想を自由記入	デンマークに関する知識を最も得られた場でした。多くの留学生が履修していました。excursion ではルイジアナ美術館などに行きました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Danish Architecture and Urban Design	デンマークの建築と都市デザイン
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2023 年度秋学期
単位数	15ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Lars Gemzøe
授業内容	デンマークの建築様式や、特徴的な都市計画について学ぶ
試験・課題等	2-3 ページの中間レポートと、11-15 ページの最終レポートで評価
感想を自由記入	デンマークの都市がどのように作られてきたのかなど、変遷を見るのが面白かったです。ディスカッションの場も用意され、他の国の留学生が自分の国と比較している話を聞けて良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Japan's History, Culture, and Society 1	日本の歴史・文化・社会
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2023 年度秋学期
単位数	7.5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Beata Switek
授業内容	日本語戦後からの社会や政治について学ぶ
試験・課題等	全四回の課題で評価
感想を自由記入	日本人でありながら、新たに学ぶことが非常に多くありました。デンマーク人が履修者の大半を占めており、日本のことが好きな人とつながることが出来ます。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学選考試験
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	入学許可、VISA申請、寮の確保、航空券購入、TOEIC受験
	8月～9月	渡航、プレセメスター、9月秋学期開始
	10月～12月	中間課題
留学/帰国年	1月～3月	期末課題、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は街づくりに関心がありました。その中で、幸福度が高いと言われる北欧はどのように街づくりを行っているのか興味を持ったため、デンマークへの留学を決めました。都市部への一極集中など、様々な問題を抱える日本の都市計画を、他の国と比較することで見えてくるものがあると考えたからです。そのため、コペンハーゲン大学ではこれに関する授業を履修しました。留学生が履修できる授業の中には excursion という遠足のようなものが用意されていることがあり、様々な場所に連れて行ってくれます。私は、これで美術館や橋を越えた先にあるスウェーデンに行くことが出来ました。

この大学は留学生に対するサポートが手厚い大学だと感じました。留学する人で友達が出来るか不安に感じる人も多いと思いますが、この大学では留学生に向けた様々なオリエンテーションやイベント・パーティーなど交流の場が多く設けられていました。そのため、このような場に参加するだけで自然と友人は出来ていました。また、私が住んでいた寮は他の場所と比べても寮生同士の距離が近く、活発な交流がありました。友人作りで不安を抱えている人はコペンハーゲン大学に留学する限り心配いらないと思います。

留学をしていて興味深いと感じるのはやはり他の国の学生との文化の違いです。この留学を通して私はさまざまな文化を経験することが出来ました。それは食事・音楽・言語など様々です。寮はほとんどが留学生であったので世界中から学生が集まっていました。この期間を通して、かなり国際文化に関して知識を得ることが出来たと感じています。

これからコペンハーゲン大学に留学を考えている人へ。自分の英語力に自信が無かったり、食事に不安があったりなど、様々な要因で不安を抱えることはあると思いますが、その悩みは一か月もすれば消えています。デンマーク人に限らず、現地にいた留学生も含めて本当にみんな優しくかったです。困ったときは彼らに頼ればきっと助けてくれるはずです。安全で、ゆったりと時間が流れるように感じる生活をぜひ経験してほしいです。実際、私も渡航前は北欧が幸せと言われる要因は福祉など政治に関するところが大きな要因だと考えていました。しかし、住んでみると言葉では言い表せない雰囲気がそこにはありました。オレンジのライトで、カーテンで部屋を隠すこともなく、毎日ろうそくを使いながら談笑する生活は日本では再現できないと実感しました。

